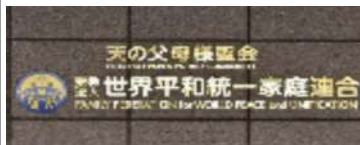




自民党国会議員が署名 「統一教会の推薦確認書」



自民党国会議員が選挙協力の見返りに統一教会の推薦確認書に署名し、統一教会の目指す政策を推し進めることを約束

していたことがわかりました。統一教会側は、自らの推す政策を実現するために、自民党に組織的に選挙協力していることを認めています。自民



今も続く集団結婚式

党の調査ではこのことは一切触れられておらず、全く不十分な調査であったことは明白です。

公明党の例でもわかりますように宗教団体が自らの推す政策を実現してもらうために政治家に選挙協力をするとは違法ではありませんが、反社会的カルト集団から選挙協力を受ける見返りに、その政策を推し進めることは社会的に問題があると言わざるをえません。自民党もそのことを自覚しているために、今後統一教会とは関係を断つと言っているのですが、これまでの過ちを認めていない限り、また同じ過ちを繰り返すことになる可能性は大です。自民党は、これまで統一教会からどれだけの選挙協力を得て、どれだけの政策に影響を及ぼしたのか、しっかり調査して国民に公表する責任があります。

政府は10月14日、旧統一教会への解散命令請求について「憲法の定める信教の自由の趣旨を踏まえれば、所管庁の関与は抑制的であるべきで、請求は十分慎重に判断すべきだ」とする答弁書を閣議決定しています。これは、政府が所管の文科省に解散命令は出すなど指示しているのと同じことです。自民党としては、これまで選挙協力を通してお世話になってきた統一教会に恩を仇で返すようなことはできないということでしょう。自民党は、今後統一教会とは関わりを持たないと言っていますが、これまでの選挙協力の事実も認めず、統一教会の解散命令も出さないということであれば、今後も深い関係を続けることは間違いありません。（樫）

安倍元首相の軽口

安倍元首相は、オリンピック誘致のため「原発はアンダーコントロールされている」と言いました。

ロシアではプーチン大統領に会った時「ウラジミール、君と僕は同じ未来を見ている、ゴールまで2人の力で駆けて駆け、駆け抜けようではありませんか」と言ったそうです。プーチン大統領は駆けて駆けウクライナ侵攻し、日本がかつて引き起こした戦争の悲惨さを見せつけています。世界中の国々への影響は、はかりしれません。安倍首相が同じ未来を見て突き進んでいたら、我々国民はどんな状況に置かれたのか想像してみなければならないと思います。それは改憲して日本を戦争する国にすることです。安倍首相の言った軽口を、とことん追及しなかったことが歯がゆく、結果的に言いたい放題やりたい放題にさせてしまいました。戦争する国にしてしまったら、私たちは次の世代に申し訳が立ちません。岸田首相も改憲を急務とし戦争準備に邁進しています。改憲を止めるには最早猶予する余地はないと思います。今こそ9条の会員は惜しむことなく一人一人が知恵と力を出すべき時だと思います。（三原）

那覇市長選 翁長候補惜敗

10月23日、沖縄の“県都”那覇の市長選挙が行われ、オール沖縄が推した翁長雄治候補は大健闘しましたが5万4千票で、6万4千票の知念候補（元副市長）に敗れました。前回オール沖縄の推薦で当選した現職の城間幹子市長は告示直前、自公推薦の知念候補を後継者として支持表明。知念氏は辺野古新基地への態度を隠したままの選挙という複雑な構図の選挙でした。

自らも厳しい中で再選を勝ち取った沖縄・デニー知事は翁長氏の「選対本部長として力不足だった。深く深く反省する」と述べ、「オール沖縄」勢力で足並みをそろえてきた那覇市長選で敗れた結果、辺野古の新基地建設に関しては「分析をしなければいけない。知念氏は、賛否を明らかにしていない。どのような影響を与えるのか、与えないのか」と述べています。

来春には統一地方選挙が行われます。自公勢力は物価や軍拡、統一教会などの大問題を避けながら争点逸らしを図ることは間違いないでしょう。基地のない沖縄を願って実現したはずの本土復帰から50年、沖縄を含め基地問題を解決するためには本土の状況を大きく変えなければ。

「流山九条ニュース」は200号になりました。皆様の感想、意見、批判などお寄せ下さい。 事務局

改めて戦争を考えるために

「私の学徒動員日記」連載を終えて

最初に鈴木光治（みつはる）さんからこの本を頂いたときはせっかく頂いたからとパラパラと拾い読みをただけでした。戦争体験記は「きけわだつみの声」など、いろいろ読んできたし、元教師をしていたので、生徒たちにも紹介してきました。

しかしこの記録はちょっと違う。14歳の少年が厳しい情報統制の中でもみずみずしい感覚を持ち続けて大人の世界を批判し、政府や軍部のゴマカシを見抜いていったことに驚いたのです。

大人はかつて自分が軍国少年だったことをあまり深くは語りません。鈴木少年はマスメディア、地域社会、政府のプロパガンダがどのように若者の心を掻き立てて行ったかを記録にのこしています。「鬼畜米英」との戦いで「敵機撃墜」などの宣伝に煽られて、「お国のために」働きたいと思っていたのです。しかし大人は表立って言えないが、子供の素直な目には軍隊や政府のウソが次第に明らかになっていき、表向きの言動とは裏腹な大人の狡さ、特攻隊や大東亜共栄圏などの虚構にも目を向けた確かな目は素晴らしい。そうした若者の心の動きに、戦時体制の恐ろしさを感じながら、それにもめげず、真実を知りたいと努力する姿に感動しました。

勝手に一部分だけを抜粋したので正しくお伝えできたかどうかは分かりません。

鈴木さん ご協力ありがとうございました。〈石林〉

衆院憲法審査会

選挙後初の会合開く NHKWebNEWSより

10月4日衆院憲法審査会の自公国維4党幹事らが会談。改憲論議を加速させるため、臨時国会でも毎週着実に審査会を開くべきだと、立憲民主党に呼びかけていく方針を確認しました。

27日開かれた衆議院憲法審査会での各党の主張は▽自民党……9条1項と2項の解釈は変えずに、実力組織としての自衛隊を明記する素案を示している。

▽立憲民主党……我が党の基本姿勢は論憲だ。旧統一教会の問題は、政治と宗教の関係をどのように整理することが正しいのかという根本問題に至る。しっかり議論することは時宜を得たものだ。

▽公明党……内閣や国会による自衛隊への民主的統制を確保することは重要で、法律だけではなく、憲法が定める統治機構の中に位置づける検討を進めたい

▽国民民主党……自衛隊は軍隊かというガラパゴス的議論に終止符を打つべきだ。

▽共産党……国民の多くが改憲を重要課題と考えていない中、審査会を動かすべきではない。旧統一教会が自民党の改憲の動きを下支えしてきたのではないのか。



日本政府 巡航ミサイル購入検討

政府が、米国製の巡航ミサイル「トマホーク」の購入を検討していることが分かりました。日本政府は台湾有事の場合の明確な安保戦略もないのに、アメリカの言われるままに対中攻撃兵器を増強しようとしています。中国本土を直接攻撃できる兵器を保有するということは、逆に中国側から見れば日本のミサイル基地を攻撃する兵器の配備が必要になるということです。武力による台湾侵攻は許されるものではありませんが、アメリカの台湾防衛戦争への参戦は日本の国土と国民生活の破壊につながりますので、国民の大多数の合意が必要です。国民の大多数の合意もなく国会での論戦も経ずに、政府の一存で対中国の軍備拡張に突き進むことは、戦前の大日本帝国の軍部が国民の合意もないままに対中戦争に突き進んだのと同じことで、民主主義の破壊と言わざるを得ません。（梶）

巡航ミサイル・トマホークとは

大砲はタマ（玉・丸・弾）の後ろで火薬を爆発させて飛ばす。これに推進エンジンを付けたものがロケット。これ等は放物線を描いて飛ぶが、その飛び方を制御する装置を備えたものがミサイルだ。さらにこの制御装置にGPSと地形図などを入れたのが巡航ミサイル。目的地をセットするとカーナビのように自動的に道を選んで飛ぶが、平面で走る車と違い、山や川などの地形やビルなどを予め読み込んであるので、障害物のない上空ではなく、地表近くを野越え、山越え飛んで敵地に侵入することが出来る。敵のレーダーに見つかりにくいからだ。こんなミサイルが「日本の防衛」のために必要か？NO！具体的な場面を想像すればわかる。まさに「敵基地攻撃」と呼ぶ先制攻撃の武器だ。



米軍嘉手納基地のF15戦闘機、全54機が退役へ

来年 今後はF22が巡回駐留へ 英紙報道 琉球新報より

米空軍が嘉手納基地に配備のF15戦闘機を1年後に退役させる方針だと報じた。嘉手納のF15は全部で2飛行隊の48機と予備機6機の合計54機。同紙などは、退役はF15の老朽化が理由だとしている。F15は自衛隊の主軸戦闘機だ。

おおたかの森駅宣伝と署名

11月9日（水）15:30~16:30

~~~~~

### カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山